

「第2期島根県公共土木施設長寿命化計画（素案）」に対する意見及び県の考え方

番号	項目	意見の要旨	意見に対する考え方
1	5. 現状と課題	劣化・損傷に対する補修方法は適切だったのか。	点検結果から施設特性に応じて計画的に修繕を実施しており、メンテナンスサイクルの取組の中で適切に行ってきています。
2	5. 現状と課題	補修後、再劣化した施設について、原因の分析と対策が必要である。	これまでに補修した施設についても、メンテナンスサイクルの取組の中で、定期的に点検を行っています。診断の結果、対策が必要となった施設については、点検結果や修繕履歴等から損傷の原因を分析、評価し、必要な対策を講じています。
3	7. 今後10年間の対策方針	再劣化防止対策、再劣化した場合の補修方針の追加と補修設計・施工に関する新技術の取り込み方針の追加が必要である。	再劣化に関しては、メンテナンスサイクルの取組の中で、事例や最新の知見に基づく情報を収集し、必要な措置を講じています。 また、対策工法の選定にあたっては、新技術も候補に加えて検討していますが、いただいたご意見を参考に、再劣化に限らず、蓄積したデータを修繕や新設の設計にも反映することを「6. 取り組みの考え方」に追記します。